

会 議 録

会 議 名	令和6年度第1回東松山市地域福祉計画策定委員会・東松山市地域福祉活動計画策定委員会 合同会議					
開 催 日 時	令和6年6月26日（水）			開 会	午後1時55分	
				閉 会	午後3時45分	
開 催 場 所	東松山市総合会館 3階304会議室					
会 議 次 第	1 開会 2 あいさつ 3 議事 (1)東松山市地域福祉に関する調査結果報告 (2)東松山市地域福祉計画（東松山市の現状分析） 4 その他 5 閉会					
公開・非公開の別	公開		傍 聴 者 数	2人		
非公開の理由 (非公開の場合)	/					
参加者出欠状況	委員長	稲葉一洋	出席	委員	福田千賀雄	出席
	委員	戸森健治	出席	委員	須藤博一	出席
	委員	松永政子	出席	委員	金杉明	出席
	委員	島野正子	出席	委員	高谷あすか	出席
	委員	奥村一彦	出席	委員	田嶋靖洋	出席
	健康福祉部 次長 山口勉			社会福祉課 課長 荻野裕		
	社会福祉課副課長 忽滑谷陽一			社会福祉課主任 岡安睦実		
	社会福祉課主査 福島朋和					
	東松山市社会福祉協議会 次長 澤井太二郎			東松山市社会福祉協議会 地域福祉課副課長 内藤高子		

	東松山市社会福祉協議会 地域福祉課係長 神田満紀子	
	一財) 日本開発構想研究所 都市・地域研究部担当部長 長島有公子	一財) 日本開発構想研究所 研究員 大橋俊平
次 第	顛	末
1 開 会	(事務局開会宣言)	
2 あいさつ		
荻野課長	会議の開催にあたり、稲葉委員長より挨拶をいただきたいと思います。	
	— 稲葉委員長挨拶 —	
荻野課長	ありがとうございました。それでは、委員の出席状況等について、ご報告申し上げます。本日は10名のうち、出席委員数は10名となっております。従いまして、東松山市地域福祉計画策定委員会条例及び地域福祉活動計画策定委員会設置規程第6条第2項の規定による定足数に達しておりますので、本会議は成立いたしましたことをご報告申し上げます。ここで、委員の皆様をご紹介させていただきます。お名前をお呼びいたしますので、その場でご起立くださいますようお願いいたします。	
	— 委員紹介 —	
荻野課長	続きまして、職員を紹介させていただきます。	
	— 事務局職員の紹介 —	
荻野課長	また、本会議の会議録の作成に当たり、出席委員2名に署名をお願いしたいと存じます。名簿順ということで、本日の会議録につきましてもは戸森委員と須藤委員をお願いしたいと存じますが、いかがでしょうか。それでは、戸森委員と須藤委員は、後日、会議録に御署名をお願い	

	<p>いたします。</p> <p>萩野課長 議事に入る前に、配布資料の確認をさせていただきます。事務局より確認をお願いします。</p> <p>— 事務局（忽滑谷副課長）説明 —</p> <p>萩野課長 それでは、議事に移らせていただきます。議事につきましては、策定委員会条例により、委員長が議長を務めることとなっておりますので、稲葉委員長にお願いいたします。</p> <p>なお、議事録作成の都合がございますので、ご発言の際は氏名を名乗っていただいてからのご発言をお願いいたします。</p> <p>稲葉委員長 よろしくお願ひいたします。</p> <p>稲葉委員長 しばらくの間、議長を務めさせていただきます。</p> <p>議事に入る前に確認事項がございます。</p> <p>東松山市審議会等の会議の公開に関する要綱では、公開・非公開の決定を会に諮って決めることとなっております。公開の場合、傍聴希望者がいらっしゃれば、傍聴いただくことになります。</p> <p>事務局にお聞きします。本日、傍聴希望者はいらっしゃいますか。</p> <p>忽滑谷副課長 傍聴の申込みは2名です。</p> <p>稲葉委員長 傍聴を許可することに御異議ありませんか。</p> <p>— 委員の同意 —</p> <p>稲葉委員長 それでは、傍聴の許可をします。事務局は、申込みをいただいた方を入室させてください。</p> <p>3 議題</p> <p>稲葉委員長 それでは、本日の会議を公開とし、議事に移ります。</p> <p>まず初めに（1）東松山市地域福祉に関する結果報告、その後（2）東松山地域福祉計画（東松山市の現状分析）について、議事が2件あり</p>
--	--

<p>日本開発構想研究所 大橋研究員</p>	<p>ますので、順次進めていきたいと思ひます。</p> <p>議事（1）東松山市地域福祉に関する結果報告について、アンケート調査をまとめました日本開発構想研究所より説明をお願いします。</p> <p>— 資料1及び資料3の説明 —</p>
<p>稲葉委員長</p>	<p>説明は終わりました。一つは、市民アンケート、もう一つは団体ヒアリング結果について説明していただいたわけですが、何かご質問、ご意見等ございますでしょうか。</p>
<p>福田委員</p>	<p>資料1の44ページ、社会福祉協議会についての中で、真ん中の表で年代別の表があると思うのですが、この中で名前も活動内容も良く知っている、合計が11.3%ですが、この中で10代が35.7%ということで他の年代で大きく上回っている。</p> <p>例えば、社会福祉協議会の事業について、中学生などにこういった事業を行っているとか、または、こういうような周知をしているのか、もしあるようでしたら教えていただければと思ひます。そういったことを、やっているということであれば、今後も引き続き行っていただければ、全体的に活動内容もしていただけるかなと思ひます。</p>
<p>稲葉委員長</p>	<p>今の質問に対しては、研究所からお答えいただくということでよろしいでしょうか。事務局からでしょうか。10代だけが高いということになります。</p>
<p>日本開発構想研究所 大橋研究員</p>	<p>今回アンケートに関して、アンケートの報告書の裏面の部分、一番下のところに書いてあるのですけれども、回答数が30件未満の場合は比率が上下しやすいため、参考値として掲載するにとどめることとしていふます。全体の件数が14件であることから有意性があるという状況ではないと思ひれます。しかし、全体が約11%ということに対して、20～30代でも約10%ということで、若年層でも名前も活動も全体と同程度の認知度があるというところかと思ひます。</p>
<p>稲葉委員長</p>	<p>ありがとうございます。回答数は14人しかいないという意味では、</p>

	<p>数値として有意性は低いのではないかとということでもあります。それと、アンケート調査でありますから、10代の回収率は約35%、1/3強を回収しているということですから、場合によっては、関心の高い、認知度の高い人が多かった可能性はある。回答数からいくと高いと言い切れる割合とは読めないというお話をいただいておりますが、そのとおりだと思います。他にいかがでしょうか。</p>
島野委員	<p>回答数は別として、現在は分かりませんが、小中学校で社協絡みの講座をコロナ禍の前はやっていたかと思います。また、夏のボランティア体験で、中学生とか高校生とかが参加していますので、それも社協の活動に関する認知度に、若干関係あるのかなと思います。</p>
戸森委員	<p>団体ヒアリングの中で、ボランティア団体として上がっているチーム東松山は何をやっているのか、また、国際交流協会の外国人支援というのは、福祉のなかに入るのか、この2点について教えていただきたい。</p>
日本開発構想研究所 長島担当部長	<p>チーム東松山は、初めは環境系のボランティア活動から始まり、そこから主に子どもを対象とした福祉活動、自立支援法によって災害支援のボランティアもやっており、かなり幅広い活動をしています。</p> <p>国際交流協会は、外国人の方に日本語を教えたり、日本の文化を体験していただいたりというのが主な活動内容になっています。</p>
金杉委員	<p>団体ヒアリング結果概要で、有償ボランティアという言葉出てくる。これからは、有償ボランティアというのが、避けて通れない時代になってくるというのを、民生委員をやっている中でも思っています。そういう中で、民生委員でも、法律でも無償というかたちでボランティアという表現があります。この無償という部分がボランティアであって、有償の部分がボランティアに該当するかどうか。これは多分、今後のいろいろな分野での担い手不足において、地域福祉では避けて通れない問題点になっていくのではないかなという感じがしますが、この結果概要の中で、どういう経緯でこのような表現になったのか、お聞かせいただきたいと思います。</p>
日本開発構想研究所	<p>概念的なことです。まず事実として申し上げますと、一つの団体</p>

長島担当部長	が無償ではなく、有償ボランティアに切り替えていたので、そこを率直にあげさせていただいています。
稲葉委員長	有書ボランティアという言葉は、1980年代から出てきている。現在では、無償のボランティアと有償のボランティアを組み合わせながら、活動の実態に即して考えていくものだと思います
須藤委員	地域活動に参加したことがないということなのですが、地域で活動するには自治会に加入していないと参加の機会がない。例えば、シニアクラブにしても自治会に加入しないと、入会が難しい。民生委員にしても自治会長の推薦がないと活動できない。地域で開催しているサロン関係についても自治会の公会堂等を使って活動している。自治会に入っていない、マンションやアパート、共同住宅に住んでいる人たちは参加できないと思います。一戸建てに住んでいても、自治会に入っていないと活動に参加できない。例えば、お祭り、子どもの見守りについても自治会でやっている。地域で暮らす人は、まず自治会に入らないといけない。誰でも参加させればいいと言いますが、自治会に入っている人たちは、お金を払っている恩恵を受けながらやっているわけですから、ただその地区に住んでいるというだけで、地域活動に参加するというのは、なかなか難しいのではないかと思います。
稲葉委員長	ありがとうございました。これはアンケートの質問より、自治会とは活動であり、そうしないと地域の活動になかなかつなげていけない。そうでもしないと、過疎地域のことでなかなかつなげていけないのではないかという意見であります。
戸森委員	<p>団体ヒアリングの結果概要で、今後の活動、周知活動について、広報誌などを通じて市が協力するという文章がありますが、現実的には広報誌を上から下まですべて読んでいる人は少ないかと思う。若い人がいれば、インターネットを活用した周知・広報活動など、いろいろな工夫ができるかと思う。</p> <p>補助金・助成金について、分かりやすい説明等が必要だという意見があるけれども、十分に分かりやすい説明であり、申請方法も分かりやすくなっているのではないかと思う。</p>

<p>稲葉委員長</p>	<p>団体ヒアリングの結果と現実とでは、ずいぶん違いがあるのではないかと、ということです。今後、実際の調査結果を、どのように計画に反映し、具体的な活動のなかにどのように生かしていくのか、別途検討する必要があるかと思います。</p> <p>調査結果の記録としては落とせないことではあるが、実際とは違う状況であるということについては、策定委員会の意見も踏まえ、行政がしっかりと検証して、何が必要なのかを見出していくことが必要だと思います。</p> <p>その他、ご意見はよろしいでしょうか。それでは議事の1を終了させていただきます。</p>
<p>稲葉委員長</p>	<p>議事の2であります。東松山市地域福祉計画、東松山市の現状分析について、事務局より説明をお願いいたします。</p>
<p>福島主査</p>	<p>－ 資料2、資料4、資料5及び参考資料について説明 －</p>
<p>稲葉委員長</p>	<p>ありがとうございました。ご意見もしくは、ご質問等ありましたらお願いします。</p>
<p>島野委員</p>	<p>東松山の現状分析、資料2の9ページ、生活困窮者の状況について、生活保護を受ける人が増えている。これは年齢層としてはこれ高齢化しているのか高齢者が増えているということでしょうか。それとも、それ以外の年齢層が増えているのか教えてください。</p>
<p>荻野課長</p>	<p>生活保護の割合については、高齢者世帯の割合が多くなってきています。高齢者世帯が全体に占める割合は46.6%、母子世帯が4.4%、障害者が17.4%、就労者が13.7%、その他の世帯が17.9%という状況です。</p>
<p>島野委員</p>	<p>ありがとうございます。もし高齢者世帯以外の年齢層で増えているのであれば、今度の施策として、自立に向けた支援体制づくりなどが重要になると思ったので、質問いたしました。</p>

戸森委員	埼玉県資料、参考の最後のページに記載されている住宅確保要配慮者について、教えてくださいませんか
福島主査	県の地域福祉支援計画の最後のページ、4環境づくりというところに、住宅確保要配慮者に必要な住宅を確保するための環境づくりとあります。例えば、単身の高齢者でなかなか住宅を探すことが難しいといった事例があります。こういった方を要配慮者として支援が必要であるということで計画を立てています。
福田委員	資料2の12ページ、相談支援について、表中の西暦が間違っているかと思います。同じく13ページで、ボランティア団体とNPO法人の登録状況について、ボランティア団体は、令和元年度が101団体で、令和5年度は67団体に減少しています。一方でNPO法人については、増えている。それぞれの団体、法人でどういった種類のものが増えているのか、減っているのかが分かれば教えてくださいかと思えます。
稲葉委員長	<p>ありがとうございました。12ページについては、西暦が間違っているという指摘なので修正をお願いします。</p> <p>2つ目、ボランティア団体とNPO法人の登録状況については、いかがでしょうか。</p>
社会福祉協議会 神田係長	ボランティア団体の現状についてですが、コロナ禍で活動を休止したのが高齢者によるボランティア団体、例えば演奏系の団体が活動を休止しています。その後、コロナ禍が明けて、登録を再開したときには、高齢であることを理由に解散している団体も多くありました。それによって数が減少しているかと思えます。
忽滑谷副課長	NPO法人につきましては、埼玉県で集計をしている資料なので、詳細の状況までは把握していません。
須藤委員	資料2の4ページ、高齢者世帯状況の推移について、コメントを入れておかないと令和元年と令和2年のギャップに疑問を呈することになるかと思えます。令和元年までは65歳以上の高齢者世帯で調べてお

<p>稲葉委員長</p>	<p>り、令和2年以降の高齢者世帯については70歳以上の世帯で進んでいるということを分かっている人はよいが、分からない人が大半だと思うので、世帯状況の推移についてコメント入れていただければと思っています。</p> <p>介護保険運営協議会でも説明があり、これまでは65歳以上で集計をしていたが、今後も進む高齢化の状況を考えて70歳以上としてもいいのではないか、ということになりました。市としては、70歳以上を高齢者世帯の対象として統計調査を進めているということですのでよろしいでしょうか。</p>
<p>山口次長</p>	<p>高齢者の世帯調査については、民生委員の皆さんに協力をいただき、毎年実施しています。当初は、担当地区の65歳以上の世帯を訪問して調査していましたが、高齢化に伴い、65歳以上の世帯数が増加し続けているなか、民生委員の皆さんとも協議をさせていただき、令和2年度からは70歳以上を高齢者世帯としています。須藤委員のご指摘のとおりなので、本計画へのデータ掲載にあたっては、注釈を入れることとします。</p>
<p>稲葉委員長</p>	<p>70歳以上になった経緯は、事務局から説明があったとおりです。介護保険運営協議会でも説明があり、そのようなかたちで決着がついておりますので、ここでも変更があったことを明記しておく必要があります。</p>
<p>須藤委員</p>	<p>データとして、計画書で推移を出すときには、きちんとした説明を付けるようにお願いします。</p>
<p>稲葉委員長</p>	<p>須藤委員からの意見、また事務局からの意見のとおり、注釈を入れて対応していただきたいと思います。</p>
<p>高谷委員</p>	<p>資料2の10ページ、DV等の女性相談について、相談件数のうち、うちDV相談という項目があるが、DV相談に該当しなかった件数には何があるのか。</p> <p>また、ひきこもり相談について、ここで相談経路の中に、支援者でな</p>

	<p>くて職員というのは、これはどこからきたのか、ということをお願いしたい。</p>
<p>荻野課長</p>	<p>こちらのDV等の相談については、人権市民相談課からの情報提供であり、担当課がここに出席していないため、ひきこもりも含めて把握していません。</p>
<p>稲葉委員長</p>	<p>最後に、私から1点だけよろしいでしょうか。課題の整理については、地域づくり、福祉への関心とか地域のつながりについて、それが大切であるということが課題として出されており、多様化、複雑化する課題に対応していかなければならない、地域の支援体制を整備していかなければならない、あるいは地域活動に携わる団体組織についても、どのような福祉の形を作っていくかによって、包括的支援体制を何を軸に作っていくのかという姿が見えないと、どうつながっていくのか、意識づくりにしても理解を深めていくという、見えてこない。どういう形を描けるのか、包括的支援体制にしても、あるいは7つの支部についても、そこで福祉づくりを進めていかなければならない、そういう実態のところを抜きにして、抽象的な部分だけで議論をすると、かえって見えにくくなる。</p> <p>東松山市では、地域福祉計画、地域活動計画の取組を開始して10年目、そろそろ東松山市の地域福祉の形を出して、これをするためにこういう形でこのところは意識を高めていくとか、7つの地区に地域福祉コーディネーターなどがいて、住民の活動も社協としても支部があって、そこからどうやって地域が福祉を支えるような仕組みを作っていくのかに関しては、意識づくり、理解を深めていけるかということで、この計画も第三次を迎えるにあたって進化する、進化させなくてはいけないと思います。</p> <p>さて、他に何かありますでしょうか。なければ、本日の議事が2件でありますので、議事終了ということになりました。ご協力ありがとうございました。</p>
<p>荻野課長</p>	<p>続きまして、4その他について、事務局からご説明します。</p>
<p>福島主査</p>	<p>－ 資料6及び資料7について説明 －</p>

<p>忽滑谷副課長</p> <p>荻野課長</p> <p>社会福祉協議会 澤井次長</p> <p>4 閉会</p> <p>荻野課長</p>	<p>－ 資料 8 について説明 －</p> <p>続きまして、東松山市地域福祉活動計画について、社会福祉協議会の方から進捗状況をお願いします。</p> <p>－ 東松山市地域福祉活動計画策定の進捗について説明 －</p> <p>最後に、閉会の挨拶を山口次長をお願いします。</p> <p>－ 山口次長挨拶 －</p> <p>(事務局閉会宣言)</p>
<p>上記会議の顛末を記載した内容について、相違ないことを証します。</p> <p>令和 6 年 7 月 2 3 日 署名委員 <u>戸森 健治</u></p> <p>署名委員 <u>須藤 博一</u></p>	